

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4570900185		
法人名	社会福祉法人 えびの明友会		
事業所名	グループホーム 顔なじみ	ユニット名	C館
所在地	宮崎県えびの市大字榎田579番地36		
自己評価作成日	令和6年10月1日	評価結果市町村受理日	令和7年1月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/45/index.php?action=kouhyou_pref_topiigvosvo_index=true
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階
訪問調査日	令和6年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

四季折々の表情を楽しめる自然豊かな場所にあり、園庭からは雄大な霧島連山を望み、季節の花に囲まれ入居者の方も四季を感じ生活されている。住み慣れたえびので安心して生活が送れるように、地域での生活、交流、絆を大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然豊かな四季を感じられる環境の中に法人の特別養護老人ホームと併設されている。「笑顔あふれる第二のわが家」「思いやりと気心知れたなじみの関係」「感謝の気持ちと意思の尊重」を施設独自の理念とし管理者、職員は日々のケアに取り組んでいる。地域の自治会との交流もあり自治の踊りの会の出演依頼や年2回の合同防災訓練も行われている。職員は和気あいあいと笑顔が絶えないようケアに取り組み、利用者はゆったりと穏やかに過ごされている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	C館	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所全体の理念を基本として日々のケアの中で常に実践出来るように取り組んでいる。職員が目につくようにフロアーに掲示している。		法人の理念もあるが施設独自の理念を職員と話し合い作成した。職員が目につくところに掲示され職員は常に意識しながら日々の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染症対策に十分に注意し、近隣自治会の方と定期的に交流を図り、地域とのふれあいが出来るように努めている。		区長にお願いし回覧板に防災訓練の案内を回して貰い合同防災訓練を行っている。自治で踊りを行っている団体より施設行事への出演依頼も来るなど地域との交流が図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員を通じて、認知症についての理解・接し方を伝える様に努めている。会議の際に感染症対策をとっている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染症対策を行い、会議を行っている。行事・利用者の状況・事故報告を行い、助言や意見をいただいている。		2ヶ月に1回運営推進会議は開催され施設の報告が行われている。コロナ禍の時には市役所や包括支援センターより面会方法の助言を頂くなどサービスの向上に活かされた取り組みが行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者とは日頃から連絡を取り合い、分らないことなどがあれば、相談・助言をいただいている。		市の担当者とは分からないことがあると電話するなど日常的に連絡を取り合っている。書類等の変更があった場合にもアドバイスを受けるなど協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を中心に会議を開催し、全職員に身体拘束をしないケアの内容の周知徹底と、施設内研修で勉強会を計画実施し、身体拘束防止に努めている。		身体拘束委員会を3ヶ月に1回開催し職員会議時に研修会を行い職員への周知は図れている。スピーチロックなど気づいたときに指導を行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議・勉強会で話し合いや言葉遣いの注意等を行い、虐待防止に努めている。			

自己	外部	項 目	自己評価	C館	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会議等で制度について説明している。必要になってくる利用者も出てくる為に、関係性を築き支援できるように努めている。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時にご家族へ説明を行い、理解・納得を図っている。また、改正毎に契約を取り交わしている。不明な点はいつでも連絡をしてもらうように説明を行っている。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が定期的に訪問・計画書を確認に来られた際や、電話にて意見・要望を伺っている。利用者の方とは日頃から、意見・要望を傾聴している。		筋力など機能の低下を心配しシルバーカーの使用継続を希望された家族に転倒のリスクを説明し、筋力の維持、自操を目標として車椅子を下肢で漕ぐように練習している。利用者、家族の意見を日々傾聴し運営に反映できるよう取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で意見や提案を聞く機会を設け、職員休憩室に「ご意見箱」と記入用紙を設置し自由に投函出来るようにしている。		主任管理者へ職員の方から相談に来る。車椅子変更や排泄について等はユニット管理者の方に相談がある。シャワーキャリーの購入やシャワーチェアの変更などサービスの向上に繋がるよう職員意見の反映に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力・勤務状況・態度等を日々の業務を通して把握する様に努め、働ける様に話をしている。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	リモート会議にて施設・法人内の勉強会や外部研修、個々の実績に合った研修に参加出来る様に配慮し、ケアの質の向上に努めている。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	リモートにて法人内・県西ブロックとの交流・情報交換、研修に定期的に参加し、サービスの質の向上に努めている。			

自己	外部	項 目	自己評価	C館	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安なく、安心して生活が出来る様に困っている事や要望等、何でも話が出来る様な関係作りに努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	担当ケアマネージャーから情報をもらい、入居時にはご家族からのご相談やご要望を伺い、その後も電話連絡や面会時での会話でご家族の気持ちを聞きながら、信頼関係が築けるよう努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の情報をもとに看護師・ケアマネと協力して、必要な事柄を見極めて対応に努めている。不明な点は各関係者から助言を頂いている。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	作業やレクリエーション等を通して、職員と利用者が一緒に、コミュニケーションを取りながら生活できるよう関係を築いている。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状況報告や面会時での意見・相談を行い、共に本人を支えていく関係を築ける様に努めている。電話や定期的にお便りを送っている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策を行い、出来る範囲での交流や自宅・馴染みの場所へドライブを行っている。	家族や知人が面会に来られる。住んでいた家や馴染みの場所周辺にドライブに行くなど支援に取り組んでいる。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格や好まれる事の把握に努めながら、利用者同士が共に助け合いながら作業を行い、レクリエーションも楽しんで参加出来るような暮らしを提供している。			

自己	外部	項 目	自己評価	C館	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了時においても必要に応じて、移行出来る様に施設間の情報の共有や、御家族への相談支援も行っている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の中で希望や思いなどを把握するように努めている。本人が意思表示が出来ない場合は、家族・職員と相談をしながら検討をしている。		日々の生活の中で思いや意向を把握するよう取り組んでいる。通販の好きな利用者へはTVショッピングや広告等を見せ可能なものは購入している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネ・家族から情報提供の協力をもらっている。生活歴・生活状況等の情報を得ている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のケアプランを作成して、その時に必要とされるケアを行っている。又記録内容を共有し各利用者の精神・健康面をスタッフ間で把握出来るよう努めている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にモニタリングを行い、担当・看護師等の意見を聞き、家族の要望等を確認しプラン立案を行っている。		毎月モニタリングを行い管理者、看護師、職員でミニカンファレンスを行い家族や利用者の意見や要望を聞き3ヶ月から6ヶ月毎に見直しを行い現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族が安心して生活ができるように努め、担当医・看護師と連携を図り、通院・外出支援を行っている。			

自己	外部	項 目	自己評価	C館	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	希望を聞き弁当を注文し、花見等を行ったりしている。地域住民、消防署の協力も得ながら安全で安心して生活が送れる様に努めている。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族との話し合いを元に、協力医療機関にかかりつけ医になってもらい、受診・回診にて健康管理に努めている。		協力医療機関より月に2回の回診が行われている。他科受診は家族対応で行われているが精神科受診においては初回は看護師同伴での受診が行われ適切な医療が受けられる支援に取り組んでいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	全スタッフ協働し利用者の健康管理に努めている。個々の記録や送り内容、看護日誌での情報共有や、夜間も特変時・緊急時には看護師への連絡体制を取っている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報交換や相談を互いに協働しながら取り組み、主治医や看護師からの助言やアドバイスによりスムーズに入退院ができるよう配慮している。月に一回は病院関係者との会議に参加をしている。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の身体状況に応じて、その都度家族・医療関係者と相談したうえで、他事業所と共に支援ができるように取り組んでいる。		看取りは行わないが入所時に重度化した場合の説明を行い書類にサインを頂いてる。状態が変化した場合にはその都度話し合いが行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルを作成し、勉強会や研修に参加して訓練を行っている。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	全棟合同にて定期的な防災訓練を計画・実施し、年2回は特養・地域・消防と合同の防災訓練を計画し実施している。		避難訓練も定期的に行われ備蓄も準備されている。年2回特養、地域との総合防災訓練も行われており地域との協力体制も築けている。	

自己	外部	項 目	自己評価	C館	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊重し、言葉掛けには十分に注意するように心掛けている。入浴・更衣・排泄時には、他利用者の視界に入らないようカーテンを閉めプライバシーが守れるように対応している。	言葉遣いには十分に気をつけている。入浴や排泄時など同姓での介助に心掛け一人ひとりの人格を尊重しプライバシー確保に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思や気持ちを大切にし、好みや思いを把握できるように努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活リズムに配慮しながら、本人のペースで対応している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人に確認しながら、その時に着る服を選んでいる。好まれる服や色があればそちらを選んで着用して頂いている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	感染症対策にて配膳等は職員で行っている。食後の食器重ねはしてもらっている。テーブル拭き等は出来る範囲で行って頂いている。	法人全体で食事は業者に依頼している。行事時にはホットケーキやかき氷を作り、花見や田植えなどの外食やお弁当の日を設け食事を楽しむ支援に取り組んでいる。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状況に合った形態の食事を提供している。摂取量を観察し、栄養管理に努めている。飲み物も、お茶ばかりではなく黒砂糖茶・ジュースも提供している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・就寝時だけではなく、個々人の状態に合わせて対応している。第1金曜日は歯ブラシを新しい物に交換して、清潔を保っている。			

自己	外部	項 目	自己評価	C館	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いて個々の排泄パターンを把握し、トイレ声かけや誘導を行っている。又、トイレ内に時間別に使用するパット使用方法貼り職員が同じケアに取り組めるようにしている。		排泄チェック表を利用し日中はトイレ誘導を行っている。夜間はパッドやポータブルトイレを使用し定時で確認を行っている。リハビリパンツから布パンツへ変わった利用者もあり自立に向けた支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じた運動・水分強化に努めている。便秘の利用者の方には担当医へ報告し内服調整を行っている。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	確認票を使って全利用者が入浴できるようにしている。入浴拒否の際には、時間を変えたり別の職員が対応をしている。状態に応じて2人介助を行っている。		週2回午前中に各棟3名ずつ入浴が行われている。特殊浴もあり機能が低下した方でも浸かれる環境にある。拒否のある方でも声掛け等工夫し個々にそった入浴を楽しめる支援に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファでゆっくりと過ごしてもらったり、居室で休まれる際には室温や周りの音にも配慮を行っている。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ケースに処方箋を綴り、いつでも確認して理解出来る様になっている。服薬チェック表にサイン・確認を行っている。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好まれる作業を役割りとして職員と一緒に、余暇時にはレクリエーションをして過ごしている。季節に合ったイベントを計画実施している。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じて花見に行ったり、花見をしながら弁当を食べたりしている。園庭の散歩を行っている。		天気の良い日は園庭での散歩を行っている。お弁当を園庭で食べる日もある。花見や初詣などドライブの計画もされ日常的な外出支援に取り組んでいる。	

自己	外部	項 目	自己評価	C館	外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人に必要なものは、必要に応じて家族へ連絡し代行して購入している。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される時は電話が出来るようにしている。贈り物等が届いた時も電話が出来るように配慮している。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブル・椅子・ソファの場所は、利用者の行動の妨げにならない場所に配置している。フロアーの装飾は季節に合った工作を飾り雰囲気作りに努めている。		共用空間は各棟共に広く利用者がゆったりと過ごせるようにソファが設置されている。季節感のある飾り付けがされており利用者が居心地よく過ごせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席は気の合う方同士を近くの席に配置したり、食事以外ではソファで好きなようにくつろげるよう配慮している。			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族・本人と相談しながら、テレビ・写真・ぬいぐるみ等の慣れ親しんだ物を置き、安心・居心地が良い環境作りに努めている。		居室は畳が敷かれそれぞれ好みの写真が飾られたりテレビや仏壇等が持ち込まれその人らしく居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入口には表札を付け、トイレや風呂場の入り口にも貼紙をつけて場所が分かりやすくしている。環境整備も心掛けて、椅子やテーブルの場所も安全な場所を考え配置をしている。			